

事業名	鳥類（カラス、ムクドリ、ヒヨドリ）による農作物被害調査
実施主体	松本地方事務所農政課、野生鳥獣被害対策チーム
実施時期	平成27年10月～28年3月
実施概要	<p>1 目的</p> <p>松本地域における鳥類による農作物被害は、鳥獣被害額全体の5割を上回る状況（県全体は3割）となっていることから、効果的な対応策等の検討を行うため、試行的に鳥害被害の多い地区の実態調査を実施することにより、鳥害対策に役立てる。</p> <p>2 内容</p> <p>松本市今井及び笹賀地区における鳥類による被害を把握するため、市村やJA担当者等への聞き取り、現地調査を行い、鳥害発生農地やネグラ、廃果の状況等の情報を収集し、それをまとめた「鳥獣被害マップ」を作成し鳥害対策に活用した。</p>
事業費 （主な使途）	101,671円（マップ制作費）
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 松本平広域公園には鳥類の隠れ家となる木が多いこと、周辺には夏は果樹、冬は廃果や落穂、堆肥舎の堆肥中に生息する虫など鳥類のエサとなるものが多いことから、今井及び笹賀地区は鳥害を誘引しやすい環境であることが確認された。</li> <li>○ 塩尻駅付近をネグラにしているカラスが被害を与えている可能性が高く、今までわかっていなかったカラスの生息が把握できた。</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係市村、JA等への情報提供</li> <li>○ 冬期間に鳥類のエサとなる廃果等を減らし、冬を乗り越える鳥類の個体数を減らすため、廃果等を埋設するなどの処理や防鳥網の設置、定期的な追払いなど鳥類を誘引しにくい環境の整備</li> <li>○ 鳥害対策研修会の開催</li> </ul>